



会員のひろば



曾我 隆二

絵手紙同好会

ふきのとう春の訪れ知らせ来る
チラシ見て今日の買い物考える

まーちゃん

川柳

「風の電話」
繋がる先のない電話
悲しみ、辛さ、想い出
心の内を受話器に話し
毎日を生きていく

塚下 健太郎

五行歌の会

帰国後のすぐに約束破りたる
再渡航すると言ふ夫(つま)を憎みぬ

本田 征子

短歌

蘭 奢 待

正倉院に伝わる宝物の香木で黄熟香の別名で「らんじゃたい」と言う。

香りは、甘くスパイシーな匂いの「ラブダナム」に似ている。

ラブダナムは、地中海沿岸に自生する低木「シスタス」から得る天然樹脂で、古代から宗教儀式、香水、薬用として珍重されてきた。

蘭奢待は、インドシナ半島東部山岳地帯で、9世紀前後に原木が倒木か伐採されたと考えられ、長さ1.56m、重さ11.6kgである。切り取り跡は38ヶ所あり、足利義政、織田信長、明治天皇の名が伝わっている。

志野流家元がコロナの終息を願って、2022年5月に増上寺で蘭奢待を焚き献上した際に、大講堂が荘厳な香りで満ちたと言われている。

ちなみに、この蘭奢待は、明治天皇が切り取ったものの一部であり、三井寺にもあるとされている。

沖野 孝

＝「片付け倶楽部 瑞原 未沙さん」からの投稿＝

第2回 探し物地獄脱出作戦

「鍵がない!」「スマホ、どこに置いたかしら?」出かける直前のこの騒ぎ。テーブルの上、バッグの中、上着のポケット。

昨日と今日で置き場所が違えば、迷子になるのも当然です。もし1日5分探しているとしたら、1年で約30時間。丸一日以上、家の中をうろろしている計算です。

でもご安心ください。年齢のせいではありません。原因はただ一つ。“住所”が決まっていないこととそこに戻さないこと。たとえば玄関の近くに小さなトレーを一つ。帰宅したら必ずその上へ。それだけで外出前は静かになります。

あなたの鍵、今日もかくれんぼしていませんか?

～～ 5月29日(金) 会員交流会が企画されています。是非ご参加を! ～～
楽しく親睦を深めましょう! 詳細は同封のチラシをご覧ください (*^-~*)